

あとがき

このたび、富山県薬業史の資料編として『富山県薬業史 資料集成』が完成し、置県百年を記念して刊行する運びとなりました。

富山県薬業史は、「先用後利」の精神を受け継ぎ、伝統的な地場産業として栄えてきた本県薬業の歩みを資料編と通史編によって総合的に把握しようという意図のもとに企画され、昭和四十八年から約十年に及ぶ歳月をかけて資料編の編さん作業を進めてきたものであります。

本県薬業に関する記録としては今までに、江戸時代から明治十年頃までの資料を収録した『富山県薬業史史料集』（昭和十年、高岡高等商業学校発行）をはじめ、『富山県売薬同業組合沿革史』（昭和十七年、同組合発行）、『行商圏と領域経済』（植村元寛氏著、昭和三十四年発行）や『富山市薬業史』（村上清造氏著、昭和五十年富山市薬業課発行）など多数の編著や研究論文があります。

本編は、こうした多くの成果を踏まえながら、他方、新たな資料の発掘にも努め、その対象とする時代的範囲を主に明治以降といたしました。県内の富山県立図書館、富山市立郷土博物館、滑川市立博物館、財団法人・水橋郷土史料館、富山商工会議所、業界新聞社、売薬旧家は勿論のこと、内藤記念くすり博物館、金沢市立図書館など広く県外にも資料を求め、集積した約六千点にもなる膨大な資料の中から厳選、収録したもの

であります。

この資料編の編さんは、専門委員の富山大学名誉教授・富山女子短期大学教授植村元覚氏、富山大学経済学部助教授小松和生氏をはじめ、左に掲げる各編さん委員の御指導、御助言のもとに、前任であった林芳夫、土肥祐輔課長、吉村敏、今村弘主幹、関口久義課長代理、山崎尊満、松本勝、鹿熊保三主任、前嘱託調査員の石原与作、故松沢義治氏及び課員の平井俊樹主幹、高岡徹主事、道正弘嘱託調査員が分担協力したほか、資料の選択にあたって越中史壇会会員の米原寛、橋本龍也、西川弘、故斉藤敏雄氏、富山地学会会員の古川春夫、中山実氏の御協力によってなつたものであります。とくに編さん専門委員の植村元覚氏と小松和生氏には、編さん作業について終始適切な御指導を頂くと共に、資料の収集、選択をはじめ編集に至るまで、直接作業に携わって頂きました。その並々な御労苦に対して深く謝意を表するものであります。なお、県史編さん班の高瀬保氏には有益な御指導を頂きました。さらに、別表の方々より貴重な資料の提供を頂きました。

ここに、本集成の刊行にあたり御協力を得た各機関、関係の方々から厚くお礼を申し上げます。

昭和五十八年五月

富山県厚生部薬業振興課長 黒 瀬 直 俊